

取組内容

大垣市を中心とする西美濃地域は、自然・歴史・文化に恵まれものづくりの盛んな地域である。平成19年に「交流産業戦略推進会議」を設立し、60社からの協力を得、その分野の広さは、繊維から自動車、ガラス等他地域と比較しても群を抜いており、それら資源を活用した事業を推進している。平成21年には「くらし」、「高技術・IT」、「食と自然」をテーマに設定したモデルルートを造成した。

平成21年、モニターツアー開催の際には、地元ラジオ局、新聞等と連携した全国的な広報を展開、また、全国へ向けて西美濃地域の「ものづくり力」を強力にPRしている。



<小型ガラススピンの製造風景>



<木柙の製造現場の見学>

評価のポイント

西美濃地域は、日本でも希にみる多様な産業の集積地であり、「交流産業戦略推進会議」の設立により60社からなる企業の受入体制が整い、更に、地元大学と連携など産官学民一体となった交流産業の創出・支援を行っている。それにより各方面とのネットワーク化が図られている点が評価できる。

モニターツアー開催時には、マスメディア活用による全国的な広報展開、各都市でのキャンペーン活動などPRを行っており、今後は、好評だったモニターツアー「食と自然」をテーマに地域の食品産業と連携しながら事業に取り組んでいく点が期待できる。